

祝 二十歳の門出



館報
い
ろ
や
ま

令和6年1月1日現在
世帯数 841戸
男 878人
女 911人
総人口 1,789人

● 氏名 (町会名)

- ① 成人式を迎えた感想と今後の抱負
- ② どんな入山辺になってほしいか
- ③ 家族に向けて一言

● 武田 ノアさん (東桐原)

- ① あっという間で実感が湧かないというのが本音ですが、振り返ってみるとやっぱり20年分の思い出があり、沢山の日々を積み重ねて今日を迎えるんだなと感じます。まだ夢へのスタートラインに立ったばかりですが、楽しみつつ納得の行くまで沢山の事に挑戦し続けていきたいです。
- ② 自然が豊かでのびのび過ごせる入山辺が続いてほしいと思います。
- ③ 私がやりたいことを否定せず後押ししてくれたからこの道を進んで来れました。ずっと私の帰る場所であり続けてくれてありがとうございます。

● 渡名喜 蒼天さん (西桐原)

- ① 無事に20歳を迎えることができよかったと思います。この門出を良い機会に新しいことに挑戦してみたいと思います。やりたいことなどはまだ見つからないので、興味関心のあることを探したいと思います。目の前の小さなことにも意味を見いだし成長できるよう頑張りたいです。
- ② 少子高齢化や過疎化が進む中でもイベントや交流が増え活気ある場所になって欲しいと思います。
- ③ 20歳という門出まで支えていただき感謝しています。これまで様々な困難がありました。家族の支えのおかげで無事に20歳を迎えることができました。これからは自立し少しずつ恩を返していきたいと思っています。

昨年に引き続き、松本市では、従来の成人式にあたる、「ハタチの記念式典」が1月7日にキッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）で開催されました。

入山辺地区の対象者は10名でした。対象者にアンケートをお配りし回答いただきました。



二十歳のメッセージ
入山辺地区出身のみなさん

● 木下 陽介さん (東桐原)

- ① 長いようであっという間でした。全然大人になったという実感はないのですが、様々な経験をしてきたので、その経験を活かして人を笑顔にできるようなことをしていきたいです。
- ② 人と人の交流はこれからも続いていくような地域で、様々なイベントを楽しんできた自分達なので、次の世代の人にもそんな入山辺を楽しんでもらいたいです。
- ③ 今までたくさん迷惑・心配をかけたと思います。それでもいつも味方でいてくれたおかげで今の自分がいるので、これからは何かで恩を返していきたいです。20年間本当にありがとうございます！

● 矢島 沙也佳さん (中村)

- ① 二十歳を迎えることができたことを心から嬉しく思うと同時に、ここまで育ててくれた家族と支えてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今後は今まで以上に大人になったという自覚を持ち、しっかり恩返しができるように精進していきたいと思っています。
- ② 私は子どもの頃、入山辺の運動会や文化祭などで町会関係なく笑顔が飛びかう様子を見るのが大好きでした。人が減りつつある今だからこそ、そんな温かい人の繋がりを大切にしたい入山辺であってほしいと思います。
- ③ 私がここまで生きてこれたのは紛れもなく家族みんなのおかげです。本当にありがとうございます。私の宝物は間違いなく家族だと、胸を張って言えるくらい大切に思っています。これからもよろしく願います。

● 小澤 慶さん (上手町)

- ① この20年はあっという間でした。勉強に励み、立派な社会人になります。
- ② 帰省すると安心します。今のままの入山辺であってほしいです。
- ③ 20歳を迎えられ、感謝しています。多くの経験をし、知識を増やしていきたいです。これからもよろしく願います。

● 大澤 絵未里さん (原)

- ① 20歳を迎えることができ感謝の気持ちでいっぱいです。夢であった保育士の仕事を全うできるよう努力していきたいと思っています。
- ② 自然豊かな空気の気持ちいい入山辺のままでいて欲しいと思っています。
- ③ 20年間沢山の思い出を一緒に作ってくれて感謝しかありません。これからもよろしく願います。

大仏の児童遊園(旧中入分校跡地) 松本市景観賞 奨励賞受賞!!

第34回松本市景観賞において大仏の児童遊園(旧中入分校跡地)が奨励賞を受賞しました。

秋にはシンボルの大きなイチヨウが黄色く色づき、遊具とのコントラストで非常にきれいな空間です。

大仏・牛立町会の羽山町会長は「松本市景観賞の奨励賞をいただくことが出来たことをとても嬉しく思っています。旧中入分校跡地であるこちらの児童遊園は多くの方に協力をいただき令和4年8月に整備が出来たもので、維持管理も地域で行っています。賞をいただけたことで関わっていただいている皆さまに少しは恩返しをすることが出来たかなと思っっています。」と笑顔で喜びを語ってくださいました。素晴らしい景観を見つげに入山辺を巡ってみるのも良いかもしれません。



(写真提供：羽山忠雄町会長)

我が町会の自慢!



西桐原町会

令和4年、5年度と町内親睦事業の一環として西桐原地区の歴史を再認識できればと思い、町内の皆様に古い写真や資料の提供をお願いしたところ100点に及ぶ資料が集まりました。その内の2点のお宝写真を紹介します。

128年前(明治28年)に撮影された今回の資料の中では一番古い写真です。写真には写っている人の名前かのご先祖様の確認ができました。もう一点は108年前(大正4年)柴宮社入口西側の石灯籠施工中の写真です。クレーン車も無い時代に何トンもの石の組み立ては手作業ですから沢山の人手が掛かった事と思います。先人達の苦労が偲ばれる史料価値のある地区のお宝写真です。

(町内公民館長 大輪安寛)



明治28年(1895)8月吉日建設の柴宮社鳥居前にて記念写真



柴宮社入口西側の石灯籠施工中大正4年9月撮影 完成大正4年(1915)11月10日



現在の柴宮社入口西側の石灯籠

南方町会

南方町会は、薄川に架かる川久保橋と御嶽橋の周辺で、薄川の左岸と右岸に跨っています。町会は、平成18年に地縁団体に認可され、現在は65戸で町会運営をしています。今回紹介するのは、入山辺地区ウオーキングマップ等に記されている「南方諏訪神社」です。神社は、町会の東南に位置し、建御名方命、手刀男命を祭神としております。毎年1月3日に元始祭、4月には祭典が執り行われています。平成29年には、茅葺の本殿が松本市重要文化財に指定されました。ウオーキングコースからは少し外れますが、是非お立ち寄りいただきますようご案内いたします。

(町内公民館長 百瀬雄二)



南方諏訪神社本殿